

※本資料は、神戸市政記者クラブ、神戸経済記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブに同時資料提供しています。

記者資料提供（令和3年8月30日）

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構

細胞療法研究開発センター

プロジェクトマネジメントグループ グループリーダー 脇岡

TEL：078-306-5088 E-mail：[hijoka@fbri.org](mailto:hijoka@fbri.org)



## 神戸医療産業都市推進機構が細胞・遺伝子治療開発を加速すべく 新たな細胞受託製造設備の整備を開始します

### 1. 概要

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構は、細胞・遺伝子治療開発を行う企業から、細胞の受託製造を行う製造設備「神戸細胞製造イノベーションセンター（仮称）」を神戸医療産業都市内の神戸医療イノベーションセンター（KCMI）の5階に整備することをお知らせします。フロア面積は約1,300㎡となり、神戸医療産業都市最大の細胞製造施設となります。

この施設では、受託製造に対応可能な複数の細胞加工・培養室と、細胞品質検査室を併設する計画です。

### 2. 整備計画

- (1) 施設名：神戸細胞製造イノベーションセンター（仮称）
- (2) 整備期間：令和3年8月～令和4年1月
- (3) 竣工予定：令和4年2月
- (4) 場所：神戸医療イノベーションセンター(KCMI) 5階  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町6丁目3番5号



### 3. 川真田 伸 細胞療法研究開発センター長のコメント

神戸医療産業都市推進機構 細胞療法研究開発センターでは 2003年から同地区の先端医療センター研究棟の細胞処理施設で細胞の受託製造を行って参りましたが、昨今の世界的な細胞・遺伝子治療開発への取り組みの高まりから、企業からの細胞開発、治験用細胞の委託製造の相談が

着実に増えています。そこでこの度、細胞・遺伝子治療開発への取り組む企業の期待に応えるため、神戸医療イノベーションセンターの5階へ細胞受託製造施設の整備を行います。

この計画は、神戸医療産業都市へ遺伝子・細胞製造事業を目的とした企業の誘致を図り、更なる発展に寄与する事業になり得ると確信しております。

### 【補足情報】

(公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 以下「FBRI」について)

FBRIは2000年3月の発足以降、神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産学官医の連携・融合を促進する総合調整機能を担うとともに、先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出と医療関連産業の集積形成に寄与することを基本的なミッションとしています。FBRIに関する詳細はホームページをご覧ください。<https://www.fbri-kobe.org>

(細胞療法研究開発センターについて)

細胞療法研究開発センターは、細胞治療・再生医療の研究や治療用細胞の製造等の細胞療法にかかる医療シーズの開発支援、及び細胞製剤製造業を事業として確立させることをミッションとしています。当センターでは、神戸ポートアイランド地区に集約した近隣の研究・医療インフラを活用しながら、有望な基礎シーズを臨床研究として開発を手掛け、基礎研究から薬事開発まで、細胞製剤を用いた薬事開発支援を幅広く実施しています。2020年11月からは、世界最先端レベルの遺伝子細胞治療製品であるノバルティス社「キムリア®点滴静注」の市販用製品のアジアで初の商用製造を当センターで開始しています。また、受託製造のほかに、細胞の安全性試験の方法や評価に関する研究・開発、次世代型自動培養システムの開発等にも取り組んでいます。

細胞療法研究開発センターの詳細についてはホームページをご覧ください。<https://www.fbri-kobe.org/rdc/>